information

富士市民活動センター　コミュニティｆ
コミュニティｆは富士市内の市民活動を応援するための施設です。

ミーティングルーム

団体登録 要　事前予約 要

継続は力なり 節電対策☆ 空気循環のため、パーテーションは最小限

常時は１ブース 12 名の配置ですが、人数や会議スタイルによって 50 名ほどまで対応できます。

特別会議室

団体登録 要　事前予約 要

継続は力なり 節電対策☆ こまめにON/OFF

定員 12 名の完全個室の会議室です。経営的な会議や、相談業務などにご利用下さい。

フリースペース

団体登録 不要　事前予約 不要

継続は力なり 節電対策☆ パソコン利用のたびにON/OFF

ネット閲覧 PC3 台常設。自動販売機もありますので、ちょっとした打合せや休憩にご利用下さい。

印刷サービス

オルフィス

片面・両面印刷対応。資料作成などにご利用下さい。

超厚手マットも新登場!!

（※注）印刷は合計10枚以上からのご利用となります

	普通紙	厚手マット紙	両面加算
白黒 A4	3円	6円	2円
白黒 A3	4円	9円	2円
カラー A4	11円	14円	10円
カラー A3	12円	17円	10円

大判印刷

A1判・A2判・横断幕の印刷も可能です。
- A1判…800円
- A2判…400円
- 横断幕（1mあたり）…1000円

断裁機、折り機、丁合機も揃っています

裁断機

最大断裁厚約200枚、断裁奥行：310mm（A4長辺）まで裁断可能です。

無料

折り機

ご希望の折り方に折る機械です。用紙サイズにより不可ありです。

無料

丁合機

複数の印刷物を頁順に並べ揃える機械です。

無料

■ イベント・団体PRなどのチラシ同封サービス

本誌「コミュｆニュース」は偶数月の１５日に富士市や静岡県下の約300箇所の団体・公共機関に郵送しております。本誌発送時にイベント情報などのチラシを同封いたします。詳しくはセンターまでお問合せ下さい。

■ こんなことといいな、できたらいいな。

コミュニティｆでは、ご要望を随時受け付けております。集客に関してや、イベント企画に関するご相談、チラシ印刷に関するお悩み、仲間集めのやり方などちいさなことでもいいのでご相談ください。また、他団体との情報を共有していけるプラットフォームのような場所になっていきたいと思います。

■ その他のサービス

メールボックス、ロッカー、インターネット利用は無料でご利用いただけます。

その他 **ＮＰＯ設立相談、イベント支援、プレスリリースなど** の相談を承ります

コミュニティｆ
富士市民活動センター

E-mail　info@com-f.net
ＨＰ　http://www.com-f.net
開館時間　月曜ー土曜10:00～22:00
日曜・祝日10:00～17:00

富士市吉原2-10-20　ラクロス吉原2階
TEL 0545-57-1221 FAX 0545-57-1091

Facebookはじめました。
いいね！をおしてください。 http://www.facebook.com/comf.jp
みなさまと情報交換の新しいツールとして利用していきたいと思います。

編集後記

いよいよ年の瀬です。巻頭の6周年記念対談に登場しましたが、富士市民活動センターの新センター長に山田有希が就任いたしました。嫁入り前の30うん歳。好きな言葉は「愛」（本当は「割引」）。みなさんと手と手を繋いでラブリー♥に2012年を迎えたいと思っています。今後ともコミュｆ共々よろしくお願いいたします。

富士市民活動センター・コミュニティｆは、ＮＰＯ法人東海道・吉原宿が指定管理者として運営を行っています

市民活動を応援するセンターの情報誌　編集・発行

コミュニティｆ 富士市民活動センター

コミュｆニュース

2011. 12. 15発行
第２０号

富士市民活動センター
コミュニティｆ
富士市吉原 2－10－20
TEL 0545-57-1221
FAX 0545-57-1091
ホームページ
http://www.com-f.net

特集 ●

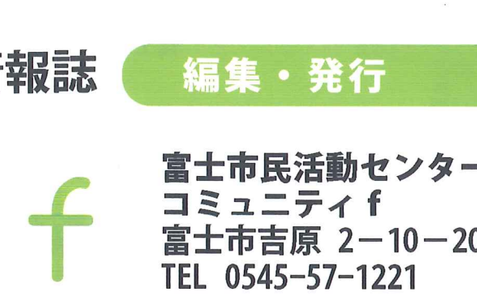
- オープン６周年記念対談 -

テーマ

「これからの協働」

富士市役所市民協働課
森田幸恵　課長
×
新センター長
山田有希

２０１２年もよろしくお願いします



ホームページ　http://com-f.net/
ブログ　http://blog.canpan.info/com-f/
フェイスブック　http://www.facebook.com/com.jp

コミュニティｆ　検索

コラム　そこが知りたい！コラム
フードバンクとは？

特集
市民活動アワード2011

イベントレポート
利用者の会開催しました

11月10日（木）　15時～　19時～

ご案内
補助金・助成金情報
イベント情報満載 **掲示板**

年末年始のご案内

年末年始の**休館日**
12/29～1/3
※新年は1/4午前10:00～
来年もコミュｆを
よろしくお願いします！

この冊子はコミュニティｆの印刷機オルフィスで印刷されてます。

富士市民活動センター コミュニティｆは、10月におかげ様で開館6周年を迎えました。そこで今回の特集は、富士市役所市民協働課課長の森田さんと主幹の吉崎さん、そしてこの度、当センター長に就任しました山田センター長とともに『これからの協働』と題して行政とＮＰＯや市民活動の現状について話をしていただきました。

1 本日はどうぞよろしくお願いいたします。来年度から富士市でもＮＰＯ法人の認証申請ができるようになりますが、その仕組みと市で申請できることのメリットを教えて下さい。

NPO法人の認証申請について

富士市役所市民協働課　森田課長

吉崎

ＮＰＯ法人の活動は、地域に根ざしたものが多く、市と身近な存在であることから、意思疎通がスムーズにでき、協働しやすい環境にあります。ＮＰＯ法人の設立認証などに関する事務については、利便性の向上とともに、地域の実情を把握している市が事務を行うことで、よりきめ細かな対応ができるものと考えています。また、市民サービスの向上や安心・安全なまちづくりにつながります。

平成24年4月から富士市が行う主な事務
①ＮＰＯ法人の設立、定款変更等認証事務（事前相談、法律で定められた申請書類の縦覧、認証または不認証の決定）
②役員の変更等の届出など各種届出書、事業報告書等の受理事務
③事業報告書等の閲覧事務
④法人に対する改善命令等監督に関する事務
⑤法人の解散に関する事務等

富士市役所市民協働課　吉崎主幹

メリットとして、1つは市が窓口になることでＮＰＯ法人の皆さんは、書類の提出等にも足を運びやすくなります。

2つめに団体の皆さんと、私たち職員が顔を合わせることで、事務をスムーズに進める事が期待できます。昨年より、市内のＮＰＯ法人を訪問させていただいていますが、権限移譲を受けることでＮＰＯ法人がどのような活動をしているかを把握することができ、顔見知りになることで、良好な関係を築くことができるのではと思います。

また、ＮＰＯ法に関する事務・権限の移譲は、ＮＰＯ法人にとってメリットがあるだけでなく、市民との協働のまちづくりを進めていく上で、市にとっても大変メリットのあるものと考えます。

山田

様々な業務が富士市で出来るようになるということですが、コミュニティｆで行っていた設立相談や各ＮＰＯ団体のアーカイブ作り等の業務がだぶる部分も出てくるということになるのでしょうか。

森田

そういうことになりますね。相談窓口ということになると、市役所より市民活動センターの方が気軽に来ることができると思うので、今までこちらを活用している方はここに来られるのではないでしょうか。件数も増えてくると思われますが、当面はこのような状況の中で相談に対応していただきたいと思います。

山田

富士市役所で手続きできるとやはり県に行くよりも楽になりますよね。

森田

そうですね。身近にあれば相談件数も増えてくる、それにより細かな相談もできお互いに分かり合える良い関係になるのではと思います。

富士市民活動センター　山田センター長

＊ＮＰＯ認証申請についての詳細は1/20発行の「広報ふじ」にも掲載される予定です。

2 これからコミュニティｆに望むこととは何でしょうか。

連携・協働を創りだす"つなぎ役"に

森田

当然、私たちはここを中間支援組織としていますので機能を拡充してもらうということと個々の団体が活動しているので横のつながりというものが希薄になってしまいます。その『横のつながりを結びつけてくれる』のがコミュニティｆですので期待は多く持っています。

ただ、ここは建物の2階にあるということで高齢者の方は2階というと来にくいですよね。ですから、いかに2階へ足を運んでもらうかということも考えていただきたいと思います。

そして入ってきた時の『スタッフの良い雰囲気』。その雰囲気というのはスタッフの皆さんの笑顔や些細な事ですが「こんにちは」などの言葉かけが大事だと思います。市の窓口と同じようにここにおいてもスタッフが窓口となるので、笑顔で迎えるというのは私が一番大切にしていることです。そのような良い雰囲気だと利用者もますます増えていくと思います。今もスタッフの方たちは笑顔で迎えていただいているのでこの状況を保ってほしいと思います。

それから『サービスの充実』です。こちらでは安価な印刷サービスの提供をしていますがそれを継続していけば利用者はもっと増えると思います。

そして、『情報の発信』です。当然ながら行政側もいかに情報を発信するか、何か良い方法はないかということを考えています。コミュニティｆの認知度は高まってきましたが、より幅広い方々にコミュニティｆを知ってもらうようＰＲをして下さい。また、資料の整理をして充実させてほしいと思います。

広報誌のコミュｆニュースは、市民活動の情報が満載ですので、ぜひ様々な市民の方に読んでいただきたいです。望むことがたくさんあって申し訳ないのですが（笑）

山田

そうですね。それは実現可能な範囲ですので頑張ります。

森田

スタッフの皆さんの今までの知識と経験を活かし、それを発揮していただきたいですね。

吉崎

山田さんが以前、お話していたセンター長としてのポリシーがありますが。

山田

『人と人とのつなぎ役になりたい』ですね。市民活動にあまり関係のない人や興味のない人たち、また、ここの利用者の中には趣味の団体の方々もいますがどこかでつながっていけたらと思います。そのような方々にこの場を推していきたいのでその仕組みづくりをしていきたいと思います。

コミュニティｆでは飲み会のイベントも開催していますが、お酒にしか興味のない人たちにも足を運んでもらいここの認知度を上げるのと同時にちょっとした気付きを与えられるセンターにしていきたいと考えています。

森田

そして、ぜひ『人』を見つけてください。私たち行政はなかなか人を見つける機会がないんです。ここはそれが出来る場所ですので、意欲のある方を見つけて市民活動に参加してもらえるように仕向けてほしいです。

3 今後、行政とコミュニティｆが連携してやっていくべきことは何でしょうか。

連携して市民活動の底上げを

森田
　市民活動の底上げをしていかなければならないと思っています。市民活動の拠点として作られたのがコミュニティｆですので、行政とコミュニティｆが意志の疎通を図りコミュニケーションをとって、いろいろな事を話し合う場であってほしいと思います。コミュニティｆで出た問題等は本当に細かなことでも行政に遠慮せずに言って下さい。ぜひ頻繁にメール等のやり取りをして情報交換をしてほしいと思います。

山田
　そのとおりですね。
　協働の話にもつながってくると思いますが、新しい公共」の関係で以前、吉崎主幹とはご一緒に発表させていただきました。やはり協働というのは行政と市民活動団体が寄り添わなくてはいけないのですが富士市はそれが良い形で出来ていると思います。

森田
　そうですね。
　行政とコミュニティｆの役割分担があると思いますので出来ることを上手にしていけば市民活動を促進できるのかなと思いますのでよろしくお願いします。

山田
　はい、このエリアの先駆者になりたいと思います。

森田
　ぜひお願いします。
　私が今、いちばん心配しているのはどのぐらいの相談件数が増えるかということなのです。市民活動相談というのは、1件に対してかなりの時間を要するのではないかと思います。
　しかし、相談件数が増えるということは市民活動に関心があるということなので、件数が増えた場合は行政だけでは対処しきれないのでコミュニティｆにお願いすることになりますね。

山田
　はい、わかりました。本日はお忙しい中ありがとうございました。

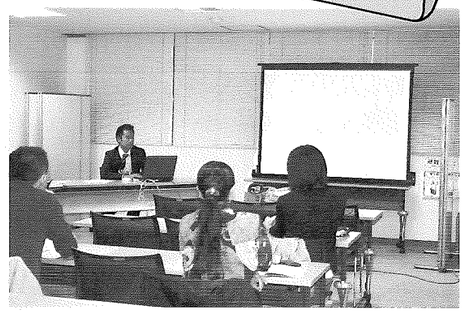
【認定NPO法人に対する新基準や仮認定制度について】

　認定NPO法人とは、国税庁長官つまり国から認められたNPO。ということで、NPOと認定NPOの最大の違いは、寄付に関する税制。認定NPOに寄付をした場合、寄付した側は寄付控除などを使って税金が少しだけ控除されるが、普通のNPOにはそれがない。
　しかし、認定NPO法人格を取得する為には国税庁の厳しい調査を受けることになる。そのため認定NPOは敷居が高いというイメージがあった。
　今、日本全国で4万数千ものNPO法人が活動しているが認定NPOといわれるのは240法人（2011年12月現在）。全体の0.5％に満たない。
　そこで登場したのが本年6月NPO法とNPOに対する寄付税制の改正法案が可決され新基準として3000円以上の寄付をしてくれる人を100人集められたら、認定NPOとして認められるという仕組みが導入された。100人以上から寄付が集められる活動であるならば国も認めましょうということだ。
　こういった法律の改正により、認定NPO法人格の取得が、以前よりシンプルで容易になった。NPO法人が助成金に頼らず会費や寄付により自立していく社会へと一歩踏み出していくことになる。

認定NPO法人の詳しい内容は
国税庁のサイトをご覧下さい。
http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/denshisonota/npo/npo.htm

イベントレポート

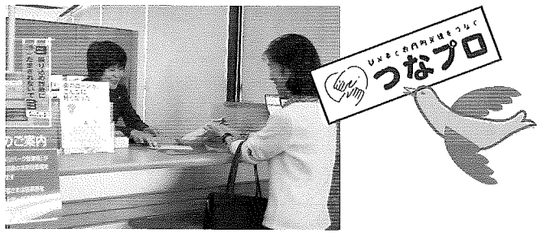
「ふじのくにNPO活動基金」を利用して活動を広げよう
●ふじのくにNPO活動基金ガイド講座＆利用者の会開催



　11月10日に開催された、ふじのくにNPO活動基金活用ガイド講座では、ふじのくにNPO活動センター・溝口和寿さんに、基金の活用法についてくわしく説明して頂きました。今年度スタートしたこの基金は、静岡県内を拠点とした社会貢献活動をより多くの市民や企業に知ってもらい、寄付募集へつなげていこうというもの。集まった寄付金は、審査後、登録団体へ助成金として支給されます。「まず団体登録をして活動の情報開示をしてもらうことが第一段階です。」と、加入のPRとともに寄付の様々なメリットなども紹介されました。
　後半の利用者の会では、日頃センターを利用している団体の参加者が、和やかな雰囲気の中、抱える問題点やこれからの展望などを話合いました。それぞれ異った分野の活動団体との情報交換にもなり、新しい活動へつながる有意義な交流の場となりました。
　また、今回の講座で紹介された「ふじのくにNPO活動基金」の詳細は、HPでも紹介されています。
www.npokikin-shizuoka.info/

募金へのご協力ありがとうございました
●つなプロ基金へ寄付

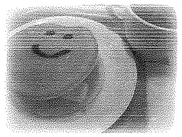
　今年3月よりコミュニティｆ来館者の皆さまからご協力いただいた募金65,764円を、去る11月16日、公益財団法人京都地域創造基金が運営する「被災者をNPOとつないで支えるプロジェクト応援基金(通称：つなプロ基金)」に寄付しました。
　この基金は、東北地方太平洋沖地震の被災地において、復興の支援活動に役立てるために設置されました。寄せられた寄付金は、様々なNPOの専門性をいかして被災者を支える事業に速やかに届けられ、被災地の復興へと役立てられます。

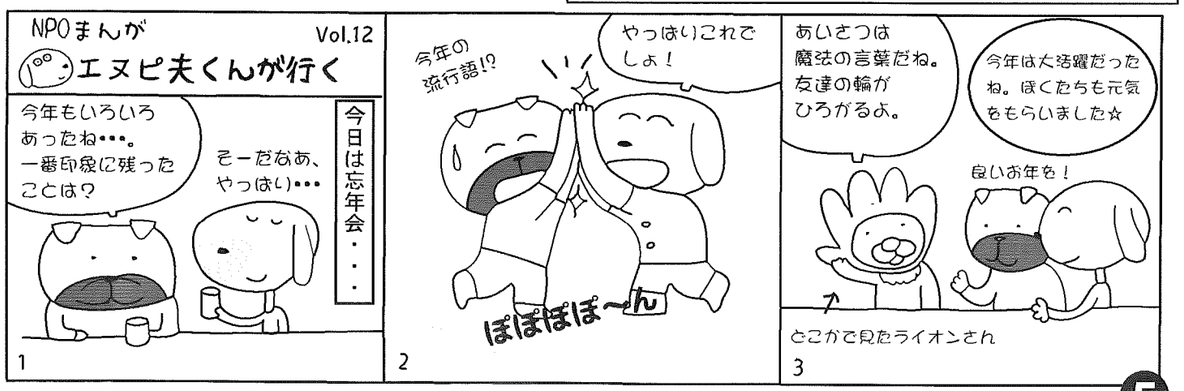


そこが知りたい！ column コラム vol.16

フードバンクとは？

　国立環境研究所の「環境研究技術ポータルサイト」によると、食品の廃棄物の発生量は年間約2000万トンで、全体の75％は焼却や埋め立て処分されているそうです。
　食品リサイクル法ができ、食品廃棄物が年間排出量100トン以上の事業所は再生利用に取り組むのですが、リサイクル率は約3割でまだまだ廃棄される量が多いようです。
　「フードバンク」とは、品質に問題がないのに廃棄せざるを得ない食品をメーカーや小売店から寄付してもらい、必要としている人に無償で届けるボランティア活動です。日本でその活動を始めたのは、東京にあるNPO法人「セカンドハーベストジャパン」で、2000年からスタートし2003年「フードバンク関西」が活動し、兵庫・広島・沖縄と活動の輪が広がっています。
生活弱者や緊急生活支援施設・団体に「フードバンク」は大きな支援となり、企業にとっては悩みの種である余剰食品を処分する時に生じる廃棄コスト削減や、廃棄物の減少による環境保全につながるメリットがあります。今回の大震災でも、いち早く支援に動き出し、大きな力になったことで更なる注目を集めました。





市民活動アワード2011
～civic-activities award '11 ～

震災、台風、洪水――。自然災害の恐ろしさを目の当たりにした2011年もあとわずか。「絆」の文字に象徴される、人と人との繋がりを真に感じた一年でしたが、富士市内でも多くの市民団体がひたむきに活動を行いました。

『あしたのまち・くらしづくり活動賞』総務大臣賞受賞

NPO法人 **ゆめ・まち・ねっと** 子育て・まちづくり

島田公園での「冒険遊び場たごっこパーク」や吉原に開設した空き店舗を利用した子どものたまり場・大人のだべり場「おもしろ荘」の運営など、地域の子どもの居場所や遊び場作りへの取り組みが高く評価され、11月16日、独自の発想でまちづくりに取り組む団体などを表彰する、平成23年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞」で総務大臣賞を受賞しました。

受賞に際し代表の渡部達也さんは、「子育て・子育ち支援という枠でなく、まちづくり・くらしづくりという枠で表彰いただけたことがうれしい。でも子どもたちが"バイバイまた明日！"とここへ来てくれることのほうがもっと大きな喜びです。」とのこと。

これからも子どもといっしょのまちづくりを益々盛り上げてほしいと思います。

親子で食育 「畑の学校」で農業体験

NPO法人 **日本体育食育協会** 青少年育成

8月21日に富士宮市粟倉のTKS新鮮組さんの畑で、親子農業体験と植物観察会を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、親子で畑の土についてのレクチャーを受け、新鮮な野菜を収穫したり野菜の観察をしながら、食べることの根源を知ってもらい、農業の楽しさを親子で体験しました。

ふじママネット 設立10周年！

NPO法人 富士市子育てサークルネットワーク **ふじママネット** 子育て支援

富士市内で子育てサークル支援を行っているふじママネットは、今年活動10周年を迎え、7月10日に記念イベント「新沢としひこ×ケロポンズファミリーコンサート」をロゼシアターで開催しました。

また10月24日にはこどもゆめ基金助成事業として、富士市立高校スポーツ探求科の協力で「サークル対抗おやこ運動会」を開催。どちらも親子と地域との絆を深める楽しいイベントで、大いに盛り上がりました。

軽トラ市＆フリマ開催

まちづくりネットワーク **フジスタイル** まちづくり

フリーマーケットを定期的に開催しているフジスタイルは、7月と12月、富士市総合体育館にて軽トラ市＆フリマを開催しました。日頃の出店に加え、軽トラの荷台には地元でとれた新鮮野菜や果物、海産物、工芸品などが並び、生産者との顔の見える売買に会場は賑わいを見せました。また10月2日には岩本山公園にて東日本大震災復興支援イベント「岩本山　秋の市」を開催。地元で活躍する13の音楽団体、富岳館高校の協力で動物ふれあい広場、東海道表富士・吉商本舗による販売など、募金活動と出店料をあわせて日本赤十字社に振込みをしました。今後の開催も期待しています。

被災地の障害者のために！

障害者自立生活センター **チャレンジド・ふじ** 障害者福祉

東日本大震災で被害に遭われた障害者や高齢者のために街頭募金活動を行い、集まった募金をJIL（全国自立生活センター協議会）などが開設した、東北関東大震災障害者救援本部へ送金しました。震災から時間が経つにつれ人々の関心が薄れがちになり、また募金活動を行う場所の許可がなかなか下りないという悩みもありますが、今後も継続的に活動を行っていくそうです。併せて募金活動場所の提供をして下さる方を探しています。皆さんのご協力をお願い致します。

※次回募金活動は1月28日13:30～15:30　JR富士駅にて

ほっとサロン ベル 設立

NPO法人 **生き活き岳南クラブ** 高齢者福祉

今年7月末、鈴川中町に「ほっとサロン　ベル」を設立した生き活き岳南クラブ。ここは訪問介護ヘルパーステーションとして、また地域のお年寄りが孤立しないよう、気軽に立ち寄れるスポットとしての憩い場にもなっています。来年2月16日には富士市からの委託で「男性介護者のためのシンポジウム」を ラ・ホール で開催する予定です。

ほっとサロン　ベルのベルは鈴川の鈴。今後迎える高齢化社会に、暖かいシルバー支援の輪を広げていってほしいと思います。

講演会

f-Biz × comf　タイアップ企画
来館者10万人達成記念講演会

富士山麓ＮＰＯサミット
～日本のＮＰＯの未来は富士山にあり～

■日　時：平成24年 1月31日（火）
19：30～20：30（開場 19：00）

■場　所：富士市民活動センター コミュニティｆ
（富士市吉原2-10-20 ラクロス吉原2Ｆ）

■内　容：食、自然、商店街といったそれぞれ違う角度からＮＰＯの活動について論じます。

■対　象：社会起業家、ＮＰＯ関係者など

■定　員：50名

■参加費：無料

■申込み：電話、ＦＡＸ、メールで下記にお申込下さい。

富士市民活動センター　コミュニティｆ
TEL　0545(57)1221　FAX　0545(57)1091
mail　info@com-f.net
facebook始めてます！
http://www.facebook.com/comf.jp

講座

効果的なプレスリリースの手法

記者クラブへ報道提供を提出しているのになかなか取り上げてもらえない！・・・

■日　時：平成24年 1月18日（水）
19：00～20：00

■場　所：富士市民活動センター コミュニティｆ
（富士市吉原2-10-20 ラクロス吉原2Ｆ）

■内　容：この講座では報道のプロをお招きして、プレスリリースの手法などをざっくばらんにお話していただきます。

■定　員：30名

■参加費：無料

■申込み：電話、FAX、メールで下記にお申込下さい。

富士市民活動センター　コミュニティｆ
TEL　0545(57)1221　FAX　0545(57)1091
mail　info@com-f.net
facebook始めてます！
http://www.facebook.com/comf.jp

NPO支援助成金情報

＊時間の経過に伴い、情報が更新されている場合があります。詳細は、センターＨＰまたはスタッフまでお尋ね下さい。

助成制度名	カテゴリ	実施団体	応募締切
平成24年度　国際協力ＮＰＯ助成	国際	日本国際協力財団	12/16
積水ハウスマッチングプログラム 2012年度（第7回）助成	環境・子ども	積水ハウス株式会社	12/22
ローム　ミュージック　ファンデーション 被災地支援コンサート	東日本大震災	公益財団法人　ロームミュージックファンデーション	12/29
クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金	環境	世界銀行　地球環境ファシリティー コンサベーション・インターナショナ	12/31
「アジア民衆パートナーシップ支援基金」 2012年度助成対象事業募集	国際協力	公益信託アジア・コミュニティ・トラスト	1/16
公募助成金：環境ＮＰＯ助成	環境	公益財団法人　日立環境財団	1/20
赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業＜第6次＞	東日本大震災	社会福祉法人　中央共同募金会	1/31
平成23年度　東日本大震災復興支援補助（第2次）募集	被災地支援	財団法人　JKA	1/31
2012年度（第7回）患者会支援 公募制活動資金助成	患者会	アステラス製薬株式会社	1/31
アウトドア自然環境保護基金プログラム	環境	コンサベーション・アライアンス・ジャパン	通年
ふじのくにＮＰＯ活動基金	社会貢献	ＦＮＣふじのくにＮＰＯ活動センター	通年